

## 第49回 統計委員会 議事概要

- 1 日 時 平成23年9月22日（木）15：05～15：50
- 2 場 所 中央合同庁舎第4号館12階 共用第1208 特別会議室
- 3 出 席 者

### 【委員】

樋口委員長、深尾委員長代理、縣委員、阿藤委員、安部委員、井伊委員、佐々木委員、首藤委員、椿委員、津谷委員、廣松委員、山本委員

### 【統計委員会運営規則第3条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、財務省大臣官房総合政策課調査統計官、文部科学省生涯学習政策局調査企画課長、厚生労働省大臣官房統計情報部企画課統計企画調整室長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省大臣官房調査統計審議官、国土交通省総合政策局情報政策課長、日本銀行調査統計局審議役、東京都総務局統計部長

### 【事務局等】

大串内閣府大臣政務官、主濱総務大臣政務官、西川内閣府大臣官房総括審議官、乾内閣府大臣官房統計委員会担当室長、杉山内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、伊藤総務省政策統括官（統計基準担当）、千野総務省政策統括官付統計企画管理官

## 4 議 事

- (1) 平成22年度統計法施行状況に関する審議結果報告書（案）
- (2) 諮問第38号の答申「建設工事統計調査の変更について」（案）
- (3) その他

## 5 議事概要

冒頭、新たに就任した大串内閣府大臣政務官及び主濱総務省大臣政務官から、今後の統計行政に関する抱負等について挨拶があった。

- (1) 平成22年度統計法施行状況に関する審議結果報告書（案）

平成22年度統計法施行状況に関する審議結果報告書案は、原案のとおり採択された。各委員の主な意見等は以下のとおり。

- ・第31回基本計画部会において、業務統計の作成状況について件数のみでなく統計名も明示したほうがよいと指摘したが、別表1として短期間でまとめていただいた。有用な情報であり、感謝する。

- (2) 諮問第38号の答申「建設工事統計調査の変更について」（案）

廣松産業統計部会長から、資料2に基づき、答申案の内容の説明があり、原案のとおり採択さ

れた。各委員の主な意見等は以下のとおり。

- ・ 標本抽出の際に昭和50年代の情報が使われていたこと等の報告があったが、これまで長期間、調査の変更がなかったのか。
- 平成12年の（統計審議会の）諮問及び答申の際にも今回と同様の指摘がなされていたものの、建設業界の特性もあり、検証が十分でなかった。その点について、答申では期限を付して、検証及び改善を今後の課題として明記した。
- 標本抽出に使用するデータについては直近の利用可能なデータに改めることとしている。また検証についても今後対応する。
- ・ 今後、行政記録情報の活用について、提出書類の電子化の見込みはあるのか。
- 行政記録情報の電子化については、統計のみならず業務の効率化の観点からも必要であるが、一方で紙による閲覧のニーズもあり、また、予算の制約もある。統計委員会としては、電子化が業務の効率化や統計の利活用等に役立つ点について、今後も繰り返し主張していく必要がある。
- 行政記録情報の電子化は大きなメリットがあると認識しているものの、予算の制約や費用対効果の面で難しい状況である。引き続き、建設業の所管部局と意思疎通を図っていく。

### （3）その他

- ① 総務省から、参考2に基づき、東日本大震災に伴う基幹統計調査の変更申請の承認に関する状況について報告があった。
- ② 樋口委員長から、参考1に基づき、「平成22年度統計法施行状況に関する審議結果についての統計委員会委員長談話」の公表について説明があった。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>